

令和7年度 第3回 中郡小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月10日（金） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 中郡小学校 図書室
- 3 出席委員 本間 義章、高井 昭、村木 文吉、村木 富代、河合 洋子、村松 康乃、松本 英也
- 4 欠席委員 小杉 国宏
- 5 オブザーバー 花井 和夫（市議会議員）、渡瀬 正（上大瀬）、伊藤 勝彦（積志協働センター所長）
- 6 学校支援コーディネーター 鈴木 尚子
- 7 学 校 渥美 公恵（校長）、佐藤 佳史（教頭）、松原 祐記子（主幹教諭）、岡元 まり（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 岡元 まり
- 10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、本間会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

防災への取り組みについて

12 報告事項

- (1) 教育活動の実施状況
- (2) 中郡小学校の学校アンケート結果
- (3) 教職員との懇談の振り返り
- (4) ハートフルサポーターの活動について

13 その他の

次回の開催日程について

14 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。また、会議録作成のため録音する旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。

○教職員との懇談で話があった給食室の暑さ対策と食の安全について

花井議員：他にも同じ状況にある学校があり、今直ぐに出来ることではないが、対応できるように鈴木議員と共に働きかけている。

○防災への取り組みについて（案：12月19日（金）に防災学習を行う）

本間委員：学校運営協議会の6年間の集大成として、是非、防災学習を行いたい。

学校：教頭からスケジュール案・活動案について説明があった。

河合委員：新聞でスリッパを作る、ごみ袋で雨合羽を作る、段ボールベッドに寝てみるまたは組み立てる、非常時トイレの使い方や固まるのを見る、ゆれたくんで揺れを体験する、被災地の映像を観る、防災すごろくをする、一人分の非常食にお湯を入れて出来上がるのを見る等の体験をすることができる。何をどこで行うかを決めないといけない。

学校：子供たちは縦割り班やペアで動くこともできる。スタンプラリー方式で回るのはどうか。

村木文委員：縦割り班はもう決まっているものか。

学校：決まっているもので掃除等で活動している。

本間委員：PTA や地域も含めてかなりの人が参加してもらえると思う。当日は授業なしにはできないものだろうか。

学校：授業数の関係もあるので調整してみる。

高井委員：先に授業をやってから防災活動にして、午後までにするのもよいと思う。

松本委員：授業の一環よりもお祭り的なイベントの方が保護者は参加しやすいかもしれない。

高井委員：保護者参加だと土日開催になるのではないか。

河合委員：子供たち全員が参加してやらないと意味がない。ひとりひとりが「自分が助かるために」動くことが大切。防災教育として授業の一環で真剣にやるべき。片手間で行うのは危険、楽しみながらも真剣に取り組まないといけない。家で体験したことを話すだけでも意識が違ってくると思う。

本間委員：新聞スリッパと雨合羽を教室で作ってから体育館へ移動するのはどうか。

河合委員：新聞スリッパは簡単なのですが、雨合羽ははさみで切るのに少し時間がかかるので一斉でやるのは難しい。トイレは凝固剤等の体験が重要。家にあっても使っていない、やらないとわからないので固まるのを見るだけでも違う。当日の非常時トイレはひとつだが、固まる体験は袋があればできる。

村松委員：縦割り班で動くと人数的にはどうか。

コーディネーター：縦割り班で動くと6年生の負担が大きいのと、学年によって説明の仕方が違うので学年別の方が動きやすいと思う。

村木富委員：終わる時間を動かすことは可能なのか。

本間委員：授業やってからにするか防災のみにするか決めたい。

学校：その日は防災のみにしたい

高井委員：防災に特化して、あとは縦割り班で動くか学年別で動くか。

学校：非常食は学校で購入する。

河合委員：非常食は1パックでおにぎりが3つくらいできるので、グループで体験すればよい。

本間委員：当日は防災イベントのみ、オンラインでスリッパを作って、その後体験の活動に移ることにして、詳細は後日決めることにする。

○その他

次回の学校運営協議会の開催予定

2月 13日（金）

第4回 学校運営協議会 9：30～